

6. 気管内挿管直後に換気不全を生じた一症例(第一回北海道臨床歯科麻酔研究会)

著者名(日)	納家 康男, 遠藤 裕一, 高橋 堯, 新家 昇
雑誌名	東日本歯学雑誌
巻	10
号	2
ページ	112
発行年	1991-12-30
URL	http://id.nii.ac.jp/1145/00007649/

6. 気管内挿管直後に換気不全を生じた一症例

納家康男，遠藤裕一，高橋 堯¹

新家 昇

(東日本学園大学歯学部歯科麻酔学講座)

(旭川歯科医師会¹)

患者は14歳の女子でダウン症候群を合併しており，術前検査で白血球の軽度増加，麻酔前日には軽い咳がみられたが，麻酔当日にはおさまっており，その他には異常所見もみられなかったため全身麻酔を施行した。

麻酔導入はGOFによるマスク導入で行い，導入中に硫酸アトロピンを静注し，脈拍数の増加を確認した後，気管内挿管を行った。ところが挿管直後より左肺野の呼吸

音が聴取できなくなり，胸部X線撮影で左上中肺野の不透過像と肋間腔の狭小化が認められた。ただちに気管内チューブの交換，気管内洗浄，体位変換，気管内吸引を行ったが症状は改善されなかった。処置終了後，再び気管内洗浄などを繰り返すうち，麻酔深度が浅くなりパッキングを生じた。この結果，呼吸音も改善され，X線上でも不透過像は消失した。術後経過は良好であった。